

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和4年度 第2回寒川町環境審議会		
日 時	令和4年10月17日(月) 14時00分～16時30分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場東分庁舎2階 第1会議室及び第2会議室		
出席者名 欠席者名 及び 傍聴者数	<p>【出席委員】片谷会長、坂本副会長、中門委員、中峰委員、八ツ橋委員、杉山委員、初鹿委員、市村委員、石井委員、平本委員、宇條委員、山蔦委員</p> <p>【欠席委員】松久委員、大野委員、相原委員</p> <p>【事務局】環境経済部：菊地部長 環境課：大山課長、椎野主査、田中主任主事</p> <p>【傍聴者】1名</p>		
議 題	<p>(1) 令和3年度版 寒川町環境報告書（案）について</p> <p>(2) その他</p>		
決定事項			
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 環境経済部長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事録承認委員の選出：杉山委員、初鹿委員</p> <p>5 議 題</p> <p>※今年度より環境報告書の書式が変更となったため、各項目について概略を説明後、質疑を行うこととした。</p> <p>(1) 令和3年度版 寒川町環境報告書（案）について</p> <p><1. 寒川町環境基本計画の趣旨>p1～p2</p> <p><2. 第3次寒川町環境基本計画について>p3～p10</p> <p>事務局より主な加筆・修正箇所について一括で説明を行った。</p> <p>※質疑なし</p> <p><3. 令和3年度さむかわの環境の概要>p11～p18</p> <p>事務局より主な加筆・修正箇所について説明を行った。</p>		

※質疑

(片谷会長) 今回の環境報告書の修正は第1回の書面会議での委員の意見を受けての修正と事務局による見直しの修正がある。各委員は意見反映されているかその観点で質問していただければと思う。

(中門委員) 総括として、前年度と書かれていることが違う点が気になる。環境課の方が中心となっていることは比較的書いてあるけれども、町の方が様々な活動に関わっているという内容が書かれていない。例えば、みどりの基本計画等で寒川町は相模川、目久尻、小出川など非常に環境豊かな町と書かれているが、この報告書では様々な活動があるにも関わらず目久尻川と相模川に偏った記述になっているので、そのような活動についての記述もあって良いかと思う。

13頁 生物多様性の記述に関し相模川での絶滅危惧種に関する保全に関する記述が前年度に書かれていた。数年前から実施しているさむかわエコネットのホタルの復活プロジェクトについての活動の点が抜けている。誌面の関係があると思うが、できるだけ入れていただいた方が継続した活動につながると思う。

11頁の依然として低い状態が続いているとの記述、一之宮幹線はそれほど低いとは言えないと思う。3河川はそれぞれ水量が違い水質の捉え方も違うと思う。

12頁 騒音と悪臭という苦情の大きな項目で悪臭は何を悪臭ととらえて苦情と考えているのか。個人の感じ方が違うと思うので、どのようなものか追加してもらえると親切かと思う。

13頁 遊休農地についてはどのように減っていったか記述いただけると良い。

14頁 2-3 文書館については町民が活用することで寒川町の文化に触れることができる。広く関わってもらうためには、報告書を見た時にどのような活用ができるかを分かりやすくすると良いと思う。

(事務局) 13頁 生物多様性に関しカワラノギクやホタル復活プロジェクト等、加えられる部分については追記を行う。

11 頁 令和3年度について一之宮幹線（一之宮第2排水路）は83.3%で回復しているのでご意見のとおり修正する。

12 頁 騒音であれば、例えば事業所の機械音など内容が分かるように具体例を追記する。

13 頁 遊休農地についてもご意見を踏まえ追加等行う。

（中門委員）文書館と協働で働いている人について、文書館のホームページなど参考に見てもらえば、活動の内容が分かってもらえると思う。

（事務局）改めて文書館の担当者と調整を行う。

（中門委員）17 頁 4-2 リサイクルセンターに持ち込みの状況が分かるとうい。

5-1 包装容器を趣味で回収して自治体で処理できないといわれる人もいる中で、処理にどのくらい町の税金かかるか費用も見えると良いのでは。ごみ処理に係る構造など。予算内なのかオーバーしているかどうかなど、費用関係も見えてくると良い。

（事務局）持ち込みもできるよという追記なのか、持ち込みを推奨するという意味か。

（中門委員）量的にどの程度持ち込まれているか。回収分なのか持ち込み分なのか割合を出せれば良いと思う。

（片谷会長）ごみの減量は総量の問題。持ち込みの推奨が減量につながるかどうかは疑問。

（坂本副会長）持ち込みの方が金額が安く設定されてるのか。

（事務局）持ち込みは無料。項目として持ち込みの記載をするかどうかは検討する。

（片谷会長）ごみの目標は減量化。評価として持ち込みを推奨するとごみの量が増えるというその点は微妙なところ。

（事務局）リサイクルセンターは資源物をリサイクルする施設のため、持ち込みはお金がかからない。会長が言われたように持ち込みが可能、というのがここで書くべきか検討させていただければと思う。

(片谷会長) リサイクルできるものだけが持ち込まれるのか。

(事務局) 違うものを持ってくれば持ち帰ってもらう。

(片谷会長) 持ち込みが減量に貢献するかどうか、リサイクルを推進しているかどうか。実態を確認したうえで記載した方が良いと思う。次回までに確認してもらうということによろしいか。

(事務局) 承知した。

(初鹿委員) 計量はしているのか。

(事務局) その都度計量していないが、一日ごとに茅ヶ崎分と寒川分で計る。費用についても量により案分計算している。

(片谷会長) コストの問題もあるが全体として減量に貢献しているか否かについて、記載するかどうかの問題。確認すること。

(事務局) 5-1について、相模川に関し流域協議会で行った活動も追記した方が良いということか。

(中門委員) 書く書かないというよりは、持ち込む人が処理を寒川町か茅ヶ崎か平塚かどこに頼むのか迷う場合に、寒川町に頼むと町の費用もかかる。この点が気になった。

(事務局) 冷蔵庫など家電関係は不法投棄も処理するが予算の範囲内で対応。繰越対応もある。あまり多いと確かに困ることもあるが、引き取れないということはボランティアに言い辛い点もあるので可能な限り対応させていただく。

(片谷委員) 省エネの話。毎年同じように進めていくというか、毎年少しずつやっていくイメージで良いのか。

(事務局) 費用の面もあるのでまとまって行うのは難しい。LEDは学校改修と一緒に進めていけるが、エレベーターや空調関係は町の公共施設再編計画で位置付けた中で段階的に進めていくことになる

(片谷委員) 大々的に記載するのは難しいのか

(事務局) 重点プロジェクトでの位置づけで取り組むべき内容であるが、町の計画や補助金はないかなど少しずつ進めていく計画になる。

<4. 第3次寒川町環境基本計画に示した取り組みの評価(令和3年度)>
> (1) 基本目標の環境指標達成状況と取り組みに対する評価と総括

(評価方法について) p19~20

事務局より環境指標の達成状況に基づく評価、取り組みの評価について、どのような考えに基づき評価しているか説明を行った。

※質疑

(片谷会長) 総合評価は四捨五入で求めているのか。

(事務局) 総合評価は環境指標の達成状況の評価と取り組み全体の評価の平均値を求めて四捨五入した数値としている。

(山蔦委員) ウクライナへの侵攻以降 省エネの考え方が重要となっている。冬はブラックアウトという話もある。評価の数値設定の仕方を重要なもの、差し迫って重要でないものに区別したほうが良いと思う。

(片谷会長) 重要な意見に思う。現時点で評価数値など変更できるものなのか。

(事務局) どのような方法に基づいて評価しているかというのは今回初めて詳しく説明した。

(片谷会長) 可能ということであれば、評価の数値的な部分、もしくは文章での評価記載するという両方の面で考えていただけたらと思う。公表の時期はいつか。

(事務局) 今年度について公表は年明けになると思われる。

(片谷会長) 数値的に盛り込むことや文書で強調する考え方もある。次回までに事務局で検討するようお願いしたい。

(基本目標に対する総括) p21~p43

事務局より主な加筆・修正箇所について説明を行った。

※質疑

(中門委員) 21 頁 基本目標 3 は全体評価が 3 のため総合評価は 3 ではないのか。

(事務局) 環境指標の評価も入れた平均のため、2 となる。

(中門委員) 42 頁 まちづくり美化活動の参加者については、最近は出るところと出ないところで偏りを感じる。新興の住宅地は若い人たちが参加していないが、ごみはある。年寄りがそこまで行ってごみを拾っている。参加者への啓発とか方法を、難しいことかもしれないが、検討いただきたい。

(片谷会長) 少なくとも課題として記述しても良いかもしれない。庁内で調整していただきたい。地域ごとの年齢格差で寒川だけの問題ではないかもしれないが、可能であれば書いていただきたい。

(中門委員) 定量的な数値をとるのは難しいと思う。

(事務局) 何かしら記載の方法を考えたい。

(片谷会長) あまりコロナ等を理由に書くのはどうかと。ただコロナに触れないのはおかしいので集団的な活動がしにくいというような記載になるかと思う。

(山蔦委員) エネルギーミックスが問題になっているが、どのような組み合わせが良いか町なりに考え判断する姿勢を報告書に入れて欲しい。

省エネ・ごみ減量化は大事だと思うが、どこから引っ張ってきたような文章で報告書に入れてしまうと、それを町が選んだことになってしまう。見識ある先生の話を知るとか、エネルギー関係の資格を取る勉強をするとか、もっと議論する場が町にあって良いのではないかと思う。

(片谷会長) エネルギーミックスを決めるのは国だが町として意見するのは妨げられない。電力会社が電力を供給する仕組みで寒川町がこうしたいとってそうなるわけではないが、町が率先して言うことで町民の意識が変わる。自治体としてどう変わるか日本のエネルギーを考えるきっかけはあっていると思う。環境報告書は呼びかけ、教材の意味であっても良いと思う。今回は盛り込むことは別問題だが今後検討して良いかもしれない。

	<p>(重点プロジェクトの評価) p44～p48 事務局より主な加筆・修正箇所について説明を行った。</p> <p>※質疑</p> <p>(中門委員) 45 頁 取組み 4 将来的に収集量が減るということは河川 美化予算がなくなってしまうということか。</p> <p>(事務局) 収集量と予算は相関関係ではない。環境課の予算内で実施。目 標値の 54,000 キロをオーバーしても予算が不足するというわけ ではない。</p> <p>(片谷会長) 雨天中止がたくさんあるがコロナで統一しても良いとも思 う。理由としてあるのであれば書いてよいと思うので、次回ま でに検討すること。</p> <p>(市村委員) 各取組みに関する評価項目で実施状況は何々で行ったとい う書き方で終わっていて、継続して今後どうするかという具体 性に乏しい。同じことをやるのか新たな課題があって新しいこ とをしていくのか、具体性があっても良いと思う。</p> <p>(片谷会長) 全部は難しいと思うが今後継続予定や望ましいという言い方 など、使い方を上手くして、今後の方向性に関して書けるとこ ろは書くこと。意見として受け止めてほしい。</p> <p>(2)その他 ※連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 回の審議会日程について、11/14(月)の午後 2 時から役場東分庁舎第 1 及び第 2 会議室で開催 ・本議題に対する意見については 10/28(金)までに環境課まで提出 <p>6 閉会 坂本副会長あいさつ</p> <p>以 上</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・令和3年度版寒川町環境報告書 (案) ・令和3年度版寒川町環境報告書 (案) 修正内容の説明

議事録承認委員及び
議事録確定年月日

杉山喜久雄 初鹿輝幸

令和4年11月16日（水）確定